

知・感・技で躍進する 神戸ケミカルシューズ

■座談会出席者（敬称略・順不同）

市野木江充子 △デザイン／市野木江充子ニッティング・スタジオ▽

藤本 芳秀 △㈱ライオン・社長▽

三木 公輔 △ホテイ護謄㈱・社長▽

石原 昭久 △大神戸製靴㈱・社長▽

前田 治夫 △カワノ㈱・取締役▽

松岡 満 △㈱アイディアル・専務取締役▽

上田 真一 △上田ゴム工業所・主任▽



藤本 芳秀さん



市野木江充子さん

——神戸もファッション都市といわれて、もう14年目になります。あれから社会情勢も変化しており、この機会にもう一度「神戸のファッション」を見直してみようというのが、このキャンペーン企画の主旨なわけです。

その主旨のもとに、今まで洋菓子や真珠、ヤングブティックや注文紳士服と、さまざまな角度から、お話をうかがってきました。今回は「靴」にスポットライトを当て、足元から神戸ファッションを浮き彫りにしてみたいと思います。

最近靴を中心にコーディネートする人も増えてます。

——まずは神戸シューズの歴史からおうかがいたいたんですが、皆さんがどういう経過を経て現在のお仕事を営



上田 真一さん



松岡 満さん



前田 治夫さん



石原 昭久さん



三木 公輔さん

んでいらっしゃるかをお話し願えますか。

三木 実は「神戸シューズ」という言葉に少し問題があるんです。というのは、住吉に革靴の産地があるんですが、そこでつくられた靴がもと「神戸シューズ」といわれてたんです。ですから神戸産の靴全体を称して「神戸シューズ」と言うのは間違ひなんです。我々はあくまで「ケミカルシューズ」なんです。少とも出発点はね。

藤本 神戸の靴はもともとゴム靴から始まったんです。港街ということで原材料を輸入しやすいという地理条件があったんでしょうね。その生産を始めたのが、確か大正10年頃だと思います。私が生まれた頃は既に150軒ぐらいゴム工場がありました。うちも大正12年頃から始めたんですが、最初はゴム靴と運動靴だけでしたよ。いわゆるファッションの一部として考えるようになったのは昭和28年頃からですね。でも最初は接着剤なんかなかなかいいのがなくて苦労したのを覚えてますよ。

三木 私のところも祖父の代からなんですが、大正8年頃が創業だったと思います。戦前は8割ぐらいが東南アジア方面への輸出でしたが、その頃からかなりファッショ的なものもやってましたよ。昭和25年ぐらいまでは生ゴムも統制下に置かれていたんですが、それ以降は手に入るようになりました。そして昭和28年頃に塩化ビニールが開発されたんです。業界の先進的な人がそれを靴に利用することを考えたんですが、それも確か神戸の人だったと思います。でも、靴用の塩ビというわけではないので、ちよつと熱を加えるとすぐにダメになるんです。だから工程の最後までもたなかったですね。でも、それも30年代頃には大進歩しました。

貿易の方も、昭和40年ぐらいまではアメリカを中心とした輸出が占めていたんですが、それ以降は台湾や韓国産のものが出回ってきて落ち込み始めましたね。そして決定的なのが48年のニクソンショックですよ。そういえば、ケミカル中心から皮革への方向転換が目立ってきたのも40年頃からですね。

神戸の人っていうのは、土地柄でしょうか、何でも新しいものを先取しちゃうんです。そういうスピリットがケミカルシューズを発展させたんでしょうね。今では、どんな材料でも靴にしますよ(笑)。

——どん欲ですね(笑)。カワノさんはファッショントウにも進出されるわけですがいかがですか。

前田 最近やっと本当にいいものが認められるようになった、という気がします。70年代までは感覚的なものだけで売れたんですが、今はファッション性に加えて技術もしっかりしてなきや売れないですよ。安いだけだったら中進国産の方が上ですしね。アパレルのDCブランドなんかでも伸びてるところはいい技術してますよ。

——最近の傾向なんかはどうですか。

松岡 私のところは婦人靴専門でやっているんですが、やはり競争は激化の一途ですね。マテリアルはもともとケミカルだったんですが、価格で競争すると厳しいですから、4年ぐらい前に皮革へチェンジしたんです。それでむしろ値段の高いものを作ろうと。つまり180度の転換ですね。どうすれば少しでも値段の高い、付加価値の高いものが作れるか、という方向へね。

ターゲットも、いわゆる団塊の世代、ある程度経済的にも余裕のある層を狙ってるんです。

——地域的にはどうですか。

松岡 昔は、安いものはスーパ―、高級品は百貨店や専門店だったんですが、今は区別ないですね。

——その辺は神戸の土地はやりやすいでしょうね。アドルト指向が強いんですから。

松岡 そうですね。でもやはりマスにつながる部分でやっていますから。

上田 私の場合まだ若冠30歳で、先輩諸氏の前で恐縮なんですけど、これからの商売のとらえ方ということでは、かなり大きなことを考えてるんです。

うちの会社は29年目で、父が創業社長なんです。今のところ16〜22歳ぐらいの若い層を対象にやっているんで

すが、これからはそれだけじゃだめだと思うんです。あくまでその層を中心には据えますが、その前後にもっと広げていかないと。

それから、ちやうど7年ぐらい前がヤングファッションの転換期だったと言われています。つまり商売になるという意味での市民権を得たと言いますか。ところが、その頃から何か質感がなくなってきたと言うか、作りがいかげんになってきたような気がするんです。それを今後どう考えるかなんですよね。

——全国的なシェアはどうですか。

上田 そりや東京ですよ。やはり情報を中心ですから。

——情報の収集なんかはどうされてますか。

上田 足ですね。耳だけだと失敗します。それも継続的にやらないとだめですね。

石原 私はずっと東京にいたので、神戸での経験はこの中で一番浅いと思います。最初に入った会社が紳士用の革靴を作ってたんですが、どうもあまりファッショナブルじゃない。もっとファッション性の高いものは作れないかと思って、白いコンピネーションの靴を作って展示会に出したんです。そしたらすごい注文が来ましてね。それで自信ができて、8年後に独立して神戸に来了んです。

——どうして神戸に來られたんですか。

石原 まあ放浪癖ですね(笑)。生まれは鹿児島なんですけど、ずっと東京に住んでたんです。その頃、後楽園球場で弁当売りやったり、いろいろアルバイトやってたんですが、その経験から商売のノウハウを覚えたような気がします。お客さんの目を見ると買う気があるかないか分かるんです。その後、親戚の關係でこっちへ来たんです。神戸は社長が多いですからね、自分も努力すればなれるんじゃないかと思っただけです(笑)。

——市野木さんはいかがですか。

市野木 皆さんの話聞いていて本当に勉強になります。神戸は靴の街っていいですけど、実は何も知らなかったんです。デザイナーの立場として思うことは、昔は靴と

いうとファッションの中でも二次的なもので、まず服があつてそれから靴だったわけです。ところが最近はおつてきた。靴を主役にしてコーディネートしてる人が増えてますよ。「こんな靴がほしい」という漠然とした欲求から出発してるんですね。

以前、パステルカラーのニット展を催した時に、アクセサリーとしてパステルカラーの靴を特注して会場に置いたんです。そしたら、あつという間に売れちゃいましたね。どこで仕入れたのかという小売屋さんからの問い合わせも殺到して驚きましたよ。けっこう年齢層の高い人が買ってたんですが、本当は欲しいんじゃないですか。でも普通のヤングの靴屋さんで買うのは恥しいから、そういう機会に買っていくんでしょうね。

それから、例えばブルーが流行るとすぐにブルーの靴が出るでしょう。あれはおかしいですね。ブルーの服が流行ってる時は、ブルーに合う色の靴を作るべきです。だから、靴そのものは良くても服に合わないものが多いんです。

——消費者の指向も靴中心に変わってきてますね。発想を変えて、売り方や作り方を変えてみてはいかがですか。
三木 まず靴を買ってそれに服を合わせる、というお話は、我々にとっては嬉しい限りですね。靴というのはやはり面積が小さいですから、あまりごちゃごちゃしたデザインよりもシンプルなものの方が良く売れますね。
藤本 私なんかもう齢で、ファッションに無関係な人間になってしまいましたが、今の話は帰ってうちの若い連中に聞かせますよ（笑）。

靴のデザイナーは知性と感性を兼備した人でないとね。
——デザイナー等の人材を養成するようなことは？

藤本 数は昔より増えてます。今は女性も多いですから。前田 感性だけでは今のデザイナーは務まりませんね。商品のライフサイクルを知ってる人でなきゃ。特殊な人は必要ないんです。むしろ社会情勢の変化に対応できる

柔軟性が求められると思います。我々の知りたいのは、感覚的なことよりもその感覚が日本でいつ売れるか、ということなんです。70年代は新しけりゃ売れましたが、80年代は地に足のついたものでなきゃ売れないですね。前田 知的なものも幅広く理解できないとだめですね。その意味で女性は、その時の感覚は理解できても別のものになると全然理解できない人が多いですね。

市野木 今の風潮がそうなんじゃないですか。個を尊重しますから、興味の無いものは見なくても済むんですよ。だから選択眼が狭くなってるんです。

前田 特に女性には面じゃなくて点でとらえちゃう。だから、若い女性さえ使えばいいものができるというのは間違いですね。まだ男性の方が柔軟性ありますよ。

——技術面に関してはどうですか。

松岡 今の技術は進歩しているというより、変化していると言った方が正解ですね。私は、やはり靴はわき役に徹するべきだと思うんです。文化的なものの全体に追随していかなきゃやっていけないですよ。だから常にアンテナを張って社会全体を見てないとだめですね。

それから、今は情報過多の時代なんです。今まではその中で一つの流行ができてたんですが、今は一人一人がメディアになって自己主張している。だから、衣食住全てが同等なんです。だから、どういう人のどういうライフスタイルを作るか、それを明確にしないとだめです。

市野木 はきやすいというのは当り前で、その上にどう付加価値をつけていくかが問題ですね。そういう意味で靴はむずかしいですね。

松岡 サイズなんですけど、女性の場合イレギュラーサイズは26cmまであるんですけど、そのイレギュラーサイズの売上げが一割もあるんですよ。

前田 そればかりの店をつくれれば流行りますよ（笑）。

上田 今は食生活が変化してますから、若者は大きいですよ。そういうイレギュラーのニーズは増えますね。

私の同業の知人で、アパレルの会社と取り引きしてる

人がいるんですが、「もうやめた」って言うんです。なぜかって聞いたたら、向うの人はヒールの寸法直しを注文するのにスカートの丈を直すのと同じ感覚で言うらしい。全然靴作りの複雑な工程がわかってないんですね。

イタリアでは最もレベルの高いデザイナーのことを「モデリスタ」というんですが、最初の段階から創作するんじゃないくて、一つのデザインを見ただけでそれにふさわしい全体のフォルムが浮んでくる、それができる人なんです。だから幅広くいろんな知識がなきゃできない。靴作りというのは正にそれなんです。

石原 私のところは、デザイン的な技術よりも「はきやすさ」の追求に重点を置いています。デザインは問屋さんの営業の方から注文されたりしますからね。今は機械化も進んではいますが、縫製は機械じゃ無理なんです。職人の人も年々減ってますしね。ファッション云々よりもそっちの方が大きな問題ですよ。

——最後に一言つつ、今後の抱負や市に対する要望などがありますか。

三木 神戸で靴が作られていることを案外神戸の人たちは知らないんじゃないでしょうか。もっとPRすべきだと思うんです。実は「フットウェアコーベ」という名で神戸産の靴の商標登録もしてるんですが、もっとそれを利用しないとね。

前田 大きな小売店なんかは外国や東京のイメージで売りがつてますからむずかしいんですよ。

市野木 神戸の靴もみんな注目してますよ。

松岡 本音として、それを出したいというのはありますね。「異人館」なんていうブランドもありますしね。

前田 最近ではブラジルやベネズエラなんかいい靴作ってますよ。台湾や韓国だけじゃない。10年として貿易の自由化が進めば大変なことになりますよ。

松岡 要望もありますが、我々自身が切磋琢磨しなければいけないことの方が多いですよ。今神戸の中で若い人たちが活躍できる場は限られていると思うんです。若者

の活力を引き出すには、もっと環境整備をしないと。

上田 私は東京の靴の学校出たんですが、神戸にもそういう学校作るべきですね。ボーアイとかファッショナル性の高い場所からね。そうすればイメージで若者は集まってきましたよ。神戸の靴のブランド性も加味されますしね。

石原 最近日本の製造業は衰退してますからね。低価格路線は中進国に攻められ、高級品はヨーロッパにかなわない。そんな中で日本が生き残るには、一つはファッショナルの先端に行くこと。もう一つは中間価格で多品種少量化を進めることですね。そうして業界が活性化すれば又教育機関の設置も早くなりそうですよ。

市野木 今のデザイナーに必要な条件は、まず長続きする感性を持っていること。そして経営的なものの考え方もできること。それから、技術的なことは自分でできなくても多少とも理解できることですね。幅広い知識や感性を持った地に足のついたデザイナーが必要なんです。

三木 私なんかこの業界に閉じ籠っているものですがから異業種の方々との交流がないんです。そういう交流が盛んになればもっと発展すると思うんですが。ぜひそういう場を「月刊神戸っ子」さんにも作って欲しいですね。

藤本 まあ学校などの要望の話もそうなんですが、それ以前に我々企業家が襟を正してやらねばならないことがたくさんあると思うんです。どうすれば若い人たちに向こうから飛び込んで来てもらえるような業界になるか、要望する前に我々自身で考えるべきですよ。

——これからの神戸は、ファッショナル業界が中心になって引つ張って行かないとだめだと思うんです。そういう意味でもぜひ皆さんに頑張ってもらいたいですね。福山に「はきものの博物館」というのがありますが、神戸にもそういうものを作ったらどうでしょう。いろいろ工夫して、ファッションを街に溶け込ませることが大事だと思うんです。市民も参加してね。我々も頑張りますので宜しくお願いします。本日はどうもありがとうございます。

(ブラン・ドゥ・ブランにて)

田崎真珠株式会社

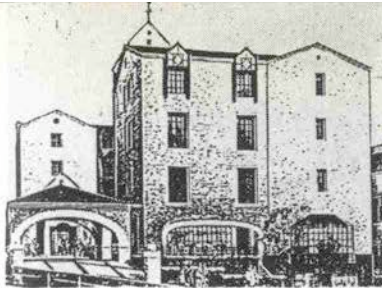
取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上2社の提供によるものです。



北野坂ホテルのイメージスケッチ(上)
大和商事 黒田豊社長(右)



★港を見おろすエキゾチックな夜が再来年春、あなたのものに
“神戸・北野”へ、遠くから訪れる観光客にとって、悩みのタネは、近くで宿泊できないことだった。
今や、年間一〇〇万人を越すという観光地“キタノ”。そこで、そんな周囲の声にこたえて、大和商事がホテル建設を進めている。
北野通り、異人館通り、不動産が交わる地点、北野坂ホテルがそれだ。異人館街にマッチした外観、内装、ゆったりくつろげるシ

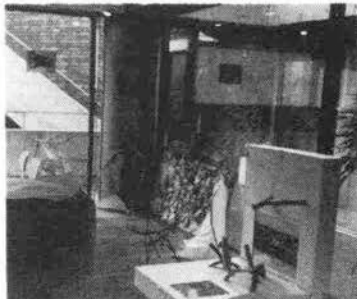
●KOBE のステキな街角から

北野通信



ツクなムードは、坂の多い異人館街散策で、疲れた身体を休めるのに最適だ。客室はシングルからトリプルまで、合せて三十六室となる予定。

地下一階のテナントスペースにも、既にシャレた店が入居を予定していて、こちらの方も楽しみだ。北野坂ホテル、昭和六十三年三月の完成が待ち遠しい。



今年の公募展出品作品の展示風景

★ニューアークストを北野から

ローズガーデン美術公募展は、今年で十回目を数える。変り行く北野から、新しい感性の芸術を生み出そうというのがねらい。京阪神から合せて一六四点の応募があり、二十代前半の若い層が目立った。中には、外国の名前も見られ、北野の国際性を伺わせた。

■入賞者／ローズガーデン大賞 殿治英子「オットットッ、白、オットットッ、青」／奨励賞 正延敏「UNTITLE D」／佳作 東昇一郎、川崎ヒロ子、元町画廬賞 辻井佳子／神戸っ子賞 植田隆雄

殺原珈琲店

中山手通2 柔接骨師会館地階
TEL 078-222-1457

珈琲倶楽部

北長狭通1
ムーンライトビル1階
TEL 078-322-2016



ローズショップ
サムホール

北野ローズガーデン中庭
TEL 078-222-1200
第3水曜休

異人館通りでステキな出会い……

JUST HAVE A LOVELY TIME

Rose Garden
KOBE KITANO IINKAN DORI

神戸市中央区山本通2丁目8-15(異人館通り)
TEL 078-222-1140

珈

琲はお気に入りのカップで
お馴染さんを招いて、萩
原珈琲店が毎年秋に開いて
いる「高級国産
洋食器展示即売
会」が4回目を使
迎えた。店で使
っているのと同
じデザインのも
のが購入できる
とあって、評判
が口コミで広が
っている。



■萩原珈琲店 中山手通2 / 珈琲倶楽部北長
狭通1

夢

いつばいのクリスマス
を 神戸YMCAのクリスマ
スを柳敏晴所長に伺った。



■12/7(日)少
年少女クリスマ
ス(幼児の部は
会員のみ)神戸
文化小ホールで
会費400円
■12/23(火)ク
リスマス礼拝と
パーティ神戸Y
MCAで、会費
男性1500円/女性1000円(500
円程度のプレゼント持参)
■くわしくは 電話241-7202

神

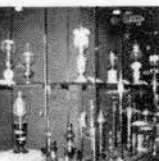
戸の「おしらせ」はお任せ
NHK神戸放送局のおし
らせ番組「くらしのチャン
ネル」を支える二人、畑美弥子さ
んと清水幾久子さん。



左 畑さん、右 清水さん

文

明開化のときめきを今



江戸・明治のランプを中
心に、松明からランプまで
の灯りの歴史が一目で分かるのが
北野らんぶ博物館。昭和56年に開
かれ、訪れる人
に目と心を楽し
ませている。異
人館散策の帰り
是非立ち寄っ
てみたい。

■開館時間 10時~18
時 年中無休 大人
400円 小人200円 電話241-1300

異

人館だから「和」食器を
うつわの店「コムシエン
ヌ」が7月にオープンした
オリジナルのガラス器や、シン
ブルな塗り、土ものの食器がズラリ。



「和食器を
洋風に使う
と、新しい
発見があり
ますよ」と
オーナーの
木村さん。
■日月休 2
41-2261

畑さんは旅行が趣味、清水さん
はエレクションを弾くのが好きと
いうごく普通の女の子だが、テレ
ビ副調整室に入り、オンエアされ
ると、アナウンサーへ、ディレク
ターへ、てきぱきと指示を飛ば
す。ディレクターを助けるのが彼
女たちの役割だ。

天秤座の畑さんと双子座の清水
さん。血液型は仲良くO型とい
う二人。今日も笑顔で、「テスト、
行きます」。

スペインの味とフラメンコ
エルパンチョキタ

中央区北野町3-2-4
(異人館通り)
アニルドマンション1F

TEL 078-241-1344

神戸内 炭火焼ステーキハウス
田島

中央区中山手通1-22-10
ダイワナイトプラザ1F

TEL 078-241-3434

ATELIER
NASU

那須 久子

神戸市中央区北野町4-9-18
カサフエニックス北野 〒650
TEL 078-222-3155(代)・3321

魔 BOUTIQUE 女

フランスから輸入した
レースを使った優雅な
オリジナルブラウス

北野町異人館倶楽部3F
TEL 078-222-1773

サンパル 市民ギャラリー

〒651 神戸市中央区雲井通5丁目3-1 サンパル4階
TEL. (078) 231-1166・2233

- 11月28日～12月3日 兵庫県美術作家協会会員展
 - 12月5日～12月10日 AQ展
 - 12月12日～12月17日 福井誠個展
 - 12月19日～12月24日 グループ舟小品展
 - 12月26日～12月30日 関西漫画集団'86ビックニュース展
- AM 10:00～PM 7:00 (最終日 PM 5:00 まで) 木曜日休館

画廊 葉 ひだり [10:00～19:00
最終日 17:00迄
月曜休館]

〒650 神戸市中央区 三宮町1丁目6-3 ☎(078) 391-4137

- 12/2～7 有田・伊万里・唐津焼名窯作家展 (即売)
- 12/9～14 羽田真・羽田創染色・皮革工芸展
- 12/16～21 藤本保子手作り人形展
- 12/23～28 創作版画協会展
- 12/30～1/5 正月休み

ギャラリー あじさい

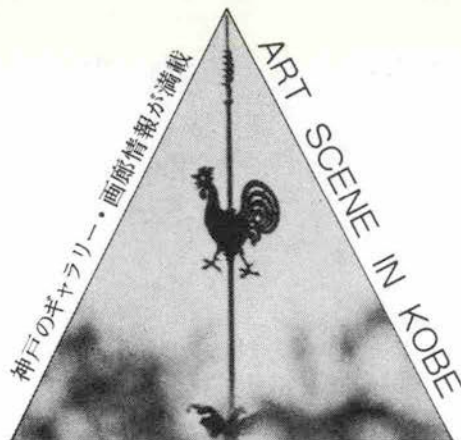
神戸市中央区三宮町1丁目8-1-305 さんプラザ3F
☎(078) 331-1639・1067
(AM 11:00～PM 6:00)

12月は常設展を開催しております。

——大丸前——

たけし画廊

〒650 神戸市中央区三宮町3丁目1～8 大丸前 (制服部2F)
TEL 078-332-0733



KOBE GALLERY GUIDE

神戸ギャラリーガイド

ギャラリー ビブレ

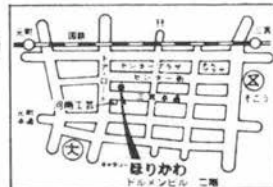
〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5の26
三宮ビブレ21ビル7F
ビブレカルチャーセンター内
☎(078) 331-6446(代) 331-7460

〈貸画廊使用規約〉 ●会期 / 6日単位 (水曜～月曜)
●時間 / 午前11時～午後7時 ●使用料 / ¥150,000

貸ギャラリーとしてご利用ください

ギャラリーほりかわ

神戸市中央区三宮町2丁目10-11
(ドルメンビル2F)
TEL (078) 331-2485 (事務所)
332-4877 (ギャラリー)

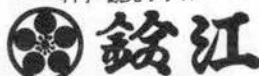




季節を味に
神戸の心でおもてなし

- 将軍会席(六尺舟盛)… ¥7,000より
- 神戸風季節料理(会席) ¥4,000より
- 大漁盛会席…………… ¥6,000より

——料亭・観光ホテル——



〒650 神戸市中央区花隈町17-24
(高遠花隈駅東口)
TEL (078) 351-3331

KOBE TOWN INFORMATION

神戸の街角からこの冬話題のホットなお店を紹介



シネマガイド
三宮店

078-332-4735

営業時間/10:00AM~7:00PM

年中無休

〒650 神戸市中央区三宮2-11-1センタープラザ西館地下

神戸元町



おみやげ、ご贈答用
名物神戸肉をどうぞ

辰屋

神戸市中央区元町通1丁目13-19 TEL 331-3016

クリスマスプレゼント

見逃せないね。⑦クリスマス 12/6(土)~21(日)



12/7(日)

ヤマハエレクトーンクリスマスコンサート

12/13(土)

ムード満点のクリスマスソング。木管5重奏
楽しいおしゃべりと奇術マジックショー

●'86日本のできごと報道写真展

空のある街
サンこうべ
神戸駅前地下街

営業時間/午前10時~午後8時・飲食店は午後9時まで。

年内は休まず営業いたします

神戸芸術学林が 堂々の優勝！

■第9回美術家野球大会開く



(右上) 勝利を喜ぶ神戸芸術学林ナイン (左上) 参加した6チームの面々 (右下) 胴上げされる坂本監督
(左下) 優勝した神戸芸術学林チーム

さわやかな秋晴れが広がった11月2日(日)に、月刊神戸っ子主催の神戸市長杯争奪第9回美術家野球大会が行なわれた。場所は昨年と変わり、兵庫相互銀行の白川グラウンド。早朝開始にもかかわらず、宝塚や加古川からも早々と野球狂が集合。

今年は、新たに新世紀協会チームも加わり、計6チームが参加。

まず、試合開始に先だって、大会委員長の佐藤康元町画廊社長と本誌小泉康夫編集長の挨拶。決勝戦のための特別審判員初田美術研究所長の初田寿さんの紹介。

第一試合、新世紀VS行動美術は行動美術の打線が爆発(4-24)。第二試合は、昨年優勝の神戸二紀が優勝チームの貫録でモダンアートを下して(10-2)。準決勝はシードチームの神戸新聞社が行動美術に喰い下がるが、惜敗(10-5)。神戸芸術学林は、実力者同志のチームらしく接戦の末、神戸芸術学林が勝利(5-2)。優勝戦は行動美術と神戸芸術学林だったが、試合は、逆転また逆転のシーソーゲーム。しかし神戸芸術学林でMVPに選ばれた奥村選手の活躍や、20歳の若武者岡崎選手の好投で、ついに神戸芸術学林が勝利(5-4)。神戸市長杯は学林の坂本監督の手に、鴨居杯は奥村選手に贈られた。

■世界の三宮センター街にノ

NY五番街と 姉妹提携フェア



(左上) マロットアメリカ総領事から認証のメッセージ。(左下) 日航のステュワーデスからアップルを受ける岸野連合会長。
(右上) 祝賀パレードに湧く三宮センター街。最大の功労者宮崎市長を囲んで(右下)

「イースト・コースト」の風が、NY気分を運んでくる三宮センター街を歩けばもう「ニューヨーク」かと、十一月一日三宮センター街とNY五番街の姉妹提携式典と、NYシティフェアの幕が十二月末迄の期間に向けてスタートした。街にはシンボルのアップルとマンハッタンをデザインしたフラッグがたなびいて、祝賀気分が活気づく中を、野村証券三宮支店の五階で記念式典が開催され約二百名の人々がお祝いに集った。

山田六郎(一丁目商店街振興組合理事長)氏が「旅行代理店からのふとしたきっかけが、NY五番街と三宮センター街の姉妹提携の話になり、宮崎市長を始め中小企業庁や県の商業課のおすすりもあり、四月にはNY五番街から会長も見えて今日の認証式にまでこぎつけました」とあいさつ。アメリカ領事館のマロット総領事からは「NY五番街との姉妹提携を通じて親しみのある日米の文化経済の交流を」とメッセージがあり、岸野利男三宮センター街会長にNY五番街からの認証書を手渡し握手。また、日本航空のステュワーデスたちから、NY五番街のシンボル、グロッソ会長からのガラスのリングが渡されてめでたくセレモニーを終えた。

センタープラザ前で、テープカット。これからは毎年「アメリカンフェア」を開催すると若々しいイメージアップ。日本から世界のセンター街へと出発した。

★ファッションバーティ「絹の彩り」優雅に

「モード・メイド・ミナコ」を主宰するデザイナーの藤井美智子さんが、日頃オーダーしている和服のリファインドドレスの数々を、お客さまが着こなして初めて生き生きとした個性を発揮できると、ファッションバーティを九月二十二日（火）の昼下りに、北野美人館通りの「蘭燈」で開催した。

初めてのこの企画に、四十五人のミセスや



藤井美智子さん(左)と山本さん

お嬢さんたちが、それぞれの和服ドレスを着て優雅に集い、利久の懐石を味わった後、一階フロアで、田淵明さんの「細雪」の朗読で「ヨ」が始った。子供の頃の紫の四ツ身のきものをロングドレスに仕立てた滝えり子さんのジャズナンバーは、小田格さんのピアノの。羽織や、訪問着などタンスの中で眠っているきものが「絹の彩」を見せて軽快によみがえり、私が主役とエンターティナーぶりを発揮する微笑ましい集いであった。

★ムラタ「ファークレクション」開催

洋服ばかりでなく、ジュエリーの豊富さでも好評のムラタが、10月23、24日の両日、さんちかホールにおいてコレクションを開催した。広い肩と、ゆったりしたそでが今年の傾



後ヨークから流れるドレープが今年の特徴

向で、全体にゆったりとしたシルエット。今年の色は黒、丈は長めが流行りそうとか。ファークレクションの組み合わせで

行なわれた、今年のショー。田高の今、ファークレクションには最高の機会とあって、ご婦人方の熱い視線が注がれていた。

★アトリエオルフェール

制作ジュウリー展

芦屋で彫金教室を開いている、アトリエオルフェール（主宰・浅見千万里、英比道子）が、10月25日、29日、両日アデッソにて教室展を開いた。



アデッソにて、スタッフの皆さん

約250点、各々個性的な作品が多く、シルバークリル、木、そうじ、皮など組み合わせた、斬新なものから、金やプラチナに宝石を入れた相当高度な技術の必要なものまで幅広い作品の展示であった。

■アトリエオルフェール（彫金教室）

芦屋東山町1-18 マンション青山202号
（0797）311-2912

★「ファム」ウインターコレクション

ファークレクションのファムが10月31日、11月4日まで、展示即売会を開いた。コレク



ファムはヤングマンがコーディネーター

ションとしてはこれで2回目で、マリオー・バレンチノ、ギラロッシュ、ピエールバルマンなど、350点もの商品が、会場狭しと並べられた。18歳から60歳まで客層は広く、ブラックを逆毛にしたデザインが今年の主流だそう。

■ファム/中央区中山手通2丁目1-13
ハタビル2F 電話2211-8885・8886

★レンタルブティック「二領」オープン

関西ではじめての、本格的な和装レンタルブティック「二領」が10月6日、オープンした。着物と言ったけさに考えがちなが、最近洋装を着る感覚、パーティウェアにしてみたり結婚式のゲスト用に、ヤングに人気のよう。柄の方も、地味で大名ロマン風。



店長の長谷川さん

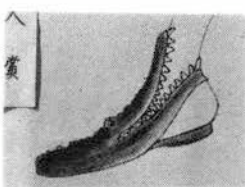
また、着付やヘアメイクサービスも実施している。常時700点の着物に加え、小物やバッグ、草履まで完備。

■中央区新小橋町5丁目3-5 グリーンシティビル2F 電話2421-2310

★ケミカルシューズの

ファッションコンテスト大賞決定

神戸特産のケミカルシューズのファッションコンテストの大賞に、東京都渋谷区の前田幸代さんデザインの、ギョロ目のワニが歯をむき出し、女性の足をガブリと飲みこんだデザインが選ばれた。六回目のコンテストには史上最高の3239点の応募があり、入賞作品は、10月28、29日国際展示場での「ケミカルシューズ」見



大賞作品

本シューズ見された。思い切ったデザインに、実用化されるという流行のストッキングに、ピタリと早くも評判を呼んでいる。

86 X'mas Serizawa Collection

自分を引きたてる術^{すべて}を駆使して、

夢待月の12月。



serizawa
KOBÉ

●神戸北野町「展望塔の家」
各国の領事を招いてのパーティが開催されることもある、という異人館。

ROYAL SALON



★
聖夜のための
ファッション・プレゼント
★

今年のフォーマルは
シンプル&カラフルに…。



ロイヤルサロン
ミツソーニブテイック
チーフ・田中恵子

12月、パーティのシーズン。ということで今月はパーティでのおしゃれをアドバイスしていただきます。

最近ではパーティも随分身近になってきていますので、今までのようにロング丈の格式張った、いかにも「フォーマルドレス」といったものよりも、もっとライト感覚の服をおすすめしたいですね。最近の傾向としては肩を強調して逆三角の型、ストラップが入った光る素材のものが多く見られます。黒地でベルベットやタテタタタの生地、素材を使ったフォーマルウエアはどなたにも着やすく、アクセサリも使いやすいですから、どうしても黒に納まってしまうがちですが、これからはもっとカラフルな色使いに挑戦してみるのも楽しいと思います。

ミラノ・パリコレクションの揃うパレ・ロイヤールの中からセレクトした今年のクリスマスマスの一着は銀色のラメが入ったニット素材のワンピース。大判のストールが付いているのであしらひ方によっていろいろ表情が楽しめると思いますよ。特に神戸の女性はこのようなシンプルなラインの服にストールやアクセサリでアクセントをもってこられるのがお好きなようなのでじゅわぶん着こなしていただけるでしょう。なんととってもフォーマルウエアはながい目でみて着れるもの、よいものを、選ぶのが一番ですね。

極める時代 ● そごう

贅沢コレクション
〈XVI〉

パレロアイアル

新館5階



Valentino Garavani

ヴァレンティノ・ガラヴァーニ



CELINE

セリーヌ



Aquascutum

アックスキュータム



GUCCI

グッチ



TRUSSARDI

トラサルディ



HERNO

ヘルノ



GUY LAROCHE

ギアラロッシュ

Garnier

ジャンニ・ヴェルサーチ



FENDI

フェンディ



LANVIN

ランヴィン



XX

マイセンサロン

GIORGIO ARMANI

ジョルジオ・アルマーニ



MISSONI

ミッソーニ



HERMÈS

エルメス



エルメス



フェンディ



ランバン



ベスト・インターナショナル

SOGO
SANNOMIYA KOBE



MAC
SINCE 1895 KOBE

本部/中央区三宮町1丁目6-22(ニューセンター7F) (078) 392-1651

三宮本店/三宮センター街 (078) 391-0895
 プレザージュ/トアロード (078) 391-0896
 ドルチェマック/三宮センター街 (078) 332-0141

京都店/藤井大丸2F (075) 211-0857
 姫路店/FESTA 2, 3F (0792) 89-4738
 宝塚店/宝塚南口サンピオラ3F (0797) 71-4830





ショッピング、食べ歩きと、仲の良いお母様とここ北野町へよく訪れる三住恵理さん（中）。

ふだんは、白かパステルカラーの、シンプルで清楚なデザインを選ばれるそうですが、今日は《まさ加古川店》高田主任（左）のアドバイスで、パーティーシーズンにぴったりのワンピースを選んでみました。

お客様——三住恵理さん

レストラン——ジャン・ムーラン



さんちか店 (078)321-4545
 宝塚ファミリストアー店 (0797)73-5359
 千里阪急地下街店 (06) 831-0756
 須磨パティオ店 (078)792-5652
 加古川店 (0794)25-5514
 E / H / T I Q U E (078)331-0950

★写真の他にも、夢のある素敵なクリスマス
プレゼントがございます。

パパさんサンタの贈りものに、
お友だちへのプレゼントに。

★クリスマスブーツ
¥350

★スターダストツリー
¥350

★クリスマスブック
¥500

KOBE
Gioncharoff
ゴンチャロフ

お歳暮に、
エminentギフト

お世話になった方や、大切な方に、
この冬もお贈りになりませんか、美味しいメッセージ。



¥3,000C キャンディ・チョコレート・チョコレート菓子詰合せ。 ¥4,000F キャンディ・焼菓子2タイプ詰合せ。 ¥5,000G キャンディ・チョコレート・チョコレート菓子・
焼菓子2タイプ詰合せ。

★写真の他にも、¥2,000～¥10,000まで詰合せがございます。

オリエンタルホテルの年末年始

忘年会 ▶ クリスマス ▶ 新年会 ▶ パーティプラン

10名様より承ります。
お一人様の料金には、室料、税・サービス料が含まれています。
このほか人数、ご予算に合わせて、ご相談に応じます
ご希望により、カラオケ、コンパニオン、バンド、タレント等の手配も承ります。(別料金)

▶ フランス料理

'86・12/1 ~ '87・1/31

PLAN ¥7,000 お一人様

▶ 中華料理

PLAN ¥8,000 お一人様

▶ 和・洋・中華料理

PLAN ¥10,000 お一人様のコースがございます。

ウインターディナーパーティ ▶ 六甲オリエンタルホテル スカイレストラン

PLAN ¥8,000 お1人さま
2名様より承ります。

ジンギスカンパーティ<特選・神戸肉>

PLAN ¥7,000 お1人さま
2名様より承ります。

第6回オリエンタルナイト

NEW YEARS EVE PARTY

音楽と美味と賑わいで……'86フィナーレ



堀 郁 子



森 田 宏

堀郁子と森田宏
シャンソンを演じる

<バンド>
中田実郎アンサンブル

12月31日(水) 10:30PM ~ 1:30AM
スカイレストラン <11F>
お1人さま ¥10,000 (バイキング料理、フリードリンク・税・サービス料共)
全席予約制となっております。

1987 お正月プラン

1月1日~3日

- 初笑い京町寄席
- 石庭の年越そば
- 新春バイキング
- もちつき大会
- 縁日・屋台
- 書初めコーナー
- 洋菓子教室
- 占
- 似顔絵
- 初釜

ご予約・お問い合わせは



神戸オリエンタルホテル

TEL 078-331-8111



六甲オリエンタルホテル

TEL 078-891-0333